

川崎市議会 2010年(平成22年) 平成22年第3回定例会 一般質問

6月22日の市議会定例会の一般質問に立った山田議員は「高齢者の孤立対策」「重い病気や難病を抱える子どもたちの学習環境の支援」「生涯学習支援施設アリーノの市民利用サービス拡充」「家具等転倒防止対策」など4項目にわたり市の現状を質し、当局に対応を求めました。

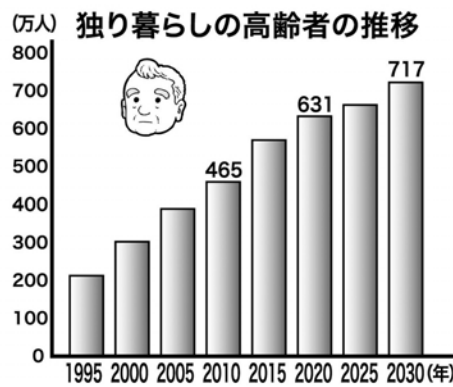
高齢者の孤立対策 **コミュニティの絆強化へ**

団地に高齢者が集う交流の場設置へ!
 高齢化の進んだ団地対策について昨年6月議会に続き提案を含め対応を質しました。まちづくり局長は他都市(神戸市・京都市など)の見守りのあり方や場の提供などを関係局と検討してきた。今後は団地の規模や立地、高齢化率などを参考にモデル的な試行を行い、高齢化の進んだ団地や今後の建て替え団地に対応したいと答弁しました。

シニア世代に地域デビューの機会を
 山田議員は高齢者に対し8割を超える人々が何らかの助けを求めているが、実際に活動に至らないのはきっかけの有無にあるとした内閣府の調査を紹介し、シニア世代を対象に区単位などで地域デビューの機会を作ることを提案しました。健康福祉局長は、地域デビューのきっかけ作りは大変に重要で例示を参考にしたいと答弁しました。



質問に立つ山田議員



闘病中の子どもたちの学習環境を支援

院内学級・非常勤講師派遣の整備を急げ!
 山田議員は、長期入院児童生徒に対する院内学級が市内では聖マリアンナ医大1箇所のみで、周知や長期入院児童生徒数の把握も出来ておらず学習環境が不十分であると指摘、市に対し厳しく追及しました。教育長は、市内の長期入院児童生徒について調査を実施するとともにニーズに応じた学習環境の充実に努めたいと答弁しました。また、山田議員は市立川崎病院等で積極的に院内学級や非常勤講師の体制が出来るよう関係機関へ働きかけるよう要請しました。

専門・経験をもつ重層的な相談ケア体制を
 闘病生活をする子どもたちのケアに加え、家族のケアも重要な課題です。相談機関として専門的知識や経験をもつ医師やスクールソーシャルワーカー等の重層的なケア体制の充実を質しました。教育長は、相談者に対し区の教育担当が保健所・福祉事務所と共有を図り、スクールソーシャルワーカーや医師、保健師、ケースワーカー等と連携しながら多方面から支援できる相談機能の充実に努めたいと答弁しました。



アリーノ(生涯学習支援施設)に行政サービス端末を
 山田議員は、昨年6月議会でアリーノへの行政サービス端末を設置するよう求め検討をするとの答弁を得ました。今議会ではこれまでの検討状況と今後の対応を質し、総合企画局長からはコンビニのキオスク端末と併せて今後の行政サービス端末の役割など基本的考え方を取りまとめる中で決めたいと前向きな答弁をしました。



耐震診断に併せ家具転倒防止対策を
 山田議員は年間400〜500件の需要のある耐震診断に併せ家具転倒防止対策を行うよう提案。まちづくり局長は大地震時における住居内での被災を軽減する効果があり、耐震診断の機会に必要に応じたアドバイスを行うよう耐震診断士に要請すると答弁しました。



山田晴彦の晴ればれレポート

5/12 まちづくり委員会で宜野湾市を視察

わが国で今最も注目を集めている宜野湾市議会に伺いました。今回の視察は、瑞慶覧キャンパス跡地利用デザインコンペと、宜野湾コンベンションエリアについて調査いたしました。



5/27 第3期宮前区民会議の初会合に出席

会議では、はじめに和田宮前区长より今期委員に委嘱状が渡され、第一回宮前区民会議が行われました。



6/5 地元コミュニティバス協議会に出席

東有馬のアリーノにおいて第25回有馬・東有馬コミュニティバス導入協議会が開かれ出席いたしました。試行運転に向けた熱心な議論が交わされました。



7/18 南野川ふれあいの森「夜の観察会」に参加

野川はあもが主催する南野川ふれあいの森での「夜の観察会」に参加しました。夜の森ではセミの脱皮などを観察することが出来ました。



山田はるひこの晴ればれ市民相談 ホームページでチェック!
 地域問題・福祉・法律・子育て・教育・住まいの事など何でもお気軽にご相談ください。
 TEL 044(788)1858 FAX 044(788)2695
www.yamada-haruhiko.net/